

環境に関する取り組み

取り組みの報告



Innovation to the Green Tomorrow

人にやさしく 社会にやさしく 地球にやさしい 環境活動を推進

●環境方針 ISO14001環境方針

基本理念

トータルエンジニアリングを強化したモノづくりで、
地球環境保全と持続可能な社会づくりに貢献

基本方針

- ① 環境保全推進と経済活動の両立を実現する新技術を通じ、
地球環境問題の解決と社会への貢献
- ② 環境保全推進のため、新たなモビリティに応じた賢いモノづくりと、
自主的な計画に基づく継続的な改善を遂行
①リアルとバーチャルの融合を図る進化したデジタル技術を浸透させ、環境により良いモノづくりに貢献
②工場排出CO₂ゼロに向けた取り組みを推進
③廃棄物の削減、適正処理、リサイクルを推進
- ③ 環境保全に関わるステークホルダーとの信頼関係の構築
①法令順守と環境災害の未然防止
②お客様・仕入先様との密接な連携
③地域社会、地域環境への貢献
- ④ 環境方針を周知徹底、環境保全に責任を持った行動の実践

2024年6月13日

大豊精機株式会社

神谷忠弥

●環境に関する中期的な取り組み

コミットメントを実現するため、2021－2025年の5カ年を対象とした、「環境取り組みプラン」を策定しました。

取り組み項目			5カ年の取り組み	
カーボンニュートラルに向けた取り組み	製品CO ₂ 削減	自動車の燃費向上に寄与する製品開発の推進	製品	環境配慮製品の拡販による、環境貢献の拡大
	工場CO ₂ 削減	生産活動における省エネ活動の徹底と温室効果ガス排出量の低減	生産	新設する生産ライン導入時にエネルギー効率を評価するしくみの導入など
		物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減		
循環型社会の構築に向けた取り組み	循環型社会の構築	生産における排出物の低減と資源の有効利用		排水や廃液類を低減する処理技術の導入など
		梱包資材の使用量低減と資源の有効利用	—	
環境保全と自然共生社会の構築	自然共生社会づくり (生物多様性の保全)	地域とつなぐ、自然保全活動		会社の周辺地域を調査し、動植物、水などの自然資源保護の推進
		未来へつなぐ、教育貢献の強化		
		バイオ緑化、森林保全活動		
環境経営	マネジメント	仕入先と連携した環境活動の推進	—	活動範囲のグローバル化
		環境教育活動の充実と推進		
		コミュニケーション活動の充実		

環境に関する取り組み

取り組みの報告



カーボンニュートラルを目指して

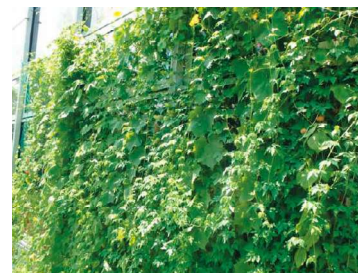
●環境教育

環境保全活動の継続とレベルアップを図るため、計画的な環境教育を推進しています。

区分	教育名	延人数
管理者	エネルギー管理者	5名
	公害防止管理者	13名
	特別管理産業廃棄物管理責任者	32名
一般	ISO14001内部環境監査員	81名

●環境月間

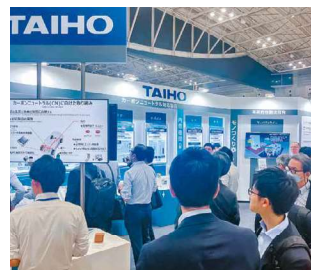
環境意識向上活動として、2012年から毎年、6月の環境月間に合わせて職場ごとにグリーンカーテン活動を行っています。



●外部との連携、取り組みPR

5月22日(水)～24日(金)「人とするまのテクノロジー展2024横浜」にて大豊グループとして参加しカーボンニュートラル関連の設備・型の紹介及び提案をPRしました。

同く5月23日(木)、24日(金)に今年で14回目となる「とよたビジネスフェア」にも同時出展し、工場自動化提案のTe-LABOやMRシステムを利用した点群ソリューションを多くの来場者の方へ体験頂きました。



●カーボンニュートラル(CN)理解活動

社内にSDGs・カーボンニュートラル(以下CN)推進事務局を立ち上げカーボンニュートラルをわかりやすく社員に広めるため、2～3ヶ月に1回、CN通信を発信。カーボンニュートラルそのものの考え方や身近な業務での取り組み。社員からの質問への回答など、社員の意識と理解度向上を図りました。



●SDGs理解活動

本社工場では、事務棟階段へSDGsの17項目の目標を掲示。自然とSDGsの意識向上が図れるよう取り組みました。



●ソーラー発電の導入

2023年10月から本社工場の屋根を活用してソーラーパネルを設置しました。年間241t-CO₂/年を削減することができます。

